

2024 年 9 月 25 日

株式会社 JR 東日本クロスステーション
ウォータービジネスカンパニー

みなかみ工場屋根に太陽光パネルを設置し、CO₂削減に寄与！

～再生可能エネルギーによるカーボンニュートラル社会の実現を目指します～

- 株式会社 JR 東日本クロスステーション ウォータービジネスカンパニー（所在地：東京都渋谷区、カンパニー長：竹内健治）は、CO₂ 排出量削減の一環として、自家消費型の「太陽光発電設備」を飲料工場「JR 東日本クロスステーション みなかみ工場」に設置し、2024 年 8 月 30 日より運転を開始いたしました。
- 本取り組みは、東京都地球温暖化防止活動推進センター（愛称「クールネット東京」）が募集した「地産地消型再エネ増強プロジェクト」の助成金を活用しました。
- みなかみ工場では、2024 年 9 月以降に使用する電力に対し「非化石証書」を活用し、実質再生可能エネルギー由来の電力にすることで、工場で使用する電力由来の CO₂ 排出量を実質ゼロにする予定です。
- 当社は再生可能エネルギーによるカーボンニュートラル社会の実現および JR 東日本グループ「ゼロカーボン・チャレンジ 2050」※目標達成にむけ継続的に施策の推進をしていきます。

※2030 年までに 2013 年比で CO₂排出量を 50%削減し、2050 年までには「実質ゼロ」を達成することを掲げた JR 東日本グループの環境長期目標

■太陽光発電概要

設置施設名：株式会社 JR 東日本クロスステーション みなかみ工場

所在地：群馬県利根郡みなかみ町月夜野字深澤 2223

太陽光パネル容量：291.84 kw(パネル枚数 608 枚)

推定発電量：約 35 万 kWh/年（約 1 千 kWh/日）

（みなかみ工場で使用する電力の約 20%相当）

削減予定 CO₂ 量：約 139t- CO₂/年

（非化石証書の活用による CO₂ の削減総量は、約 796 t- CO₂/年）

施工会社：日本電設工業株式会社



みなかみ工場では、太陽光発電設備設置のほか、工場内全館照明の LED 化や自動消灯装置の導入をする
とともに、熱源設備は、高効率な空冷ヒートポンプチラーを導入し、台数制御装置にて最適な運用をする
ことで、省エネルギー化を推進しています。

<工場概要>

2022 年開業（敷地面積：9,262 m²、建築面積：2,855 m²、延床面積：4,360 m²）

From AQUA 谷川連峰の天然水 550ml・300ml を製造

